

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタンドバイYou		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 24日		～ R8年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	R8年 3月 14日		～ R8年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりに応じた柔軟な支援ができており、保護者との丁寧な連携も図られている。	日々の様子を具体的に共有し、特性に応じた関わりを職員間で意識している。	記録や情報共有を強化し、ケース検討の機会を増やして支援の質向上を図る。
2	個々の特性に応じた支援が行われており、利用者理解に基づいた関わりができています。	アセスメントを踏まえ、成功体験を積み重ねられるよう支援している。	支援計画と実践の連動を強化し、職員間で支援方法の共有・統一を進める。
3	職員間の協力体制があり、課題に対して改善しようとする姿勢がある。	日々の振り返りや情報共有を行い、チームで課題対応を行っている。	業務の標準化や役割分担の明確化を進め、継続的な改善につなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有や支援方法にばらつきが見られる点。	共有の機会や仕組みが十分でなく、個々の対応に依存している部分がある。	定期的なミーティングや記録の活用により、情報共有の強化と支援の統一を図る。
2	支援の質や関わり方に職員ごとの差が見られる点。	経験年数や知識の差により、支援の理解度にばらつきがある。	研修の充実や事例共有を行い、支援スキルの底上げと共通理解の形成を進める。
3	業務の進め方や役割分担が明確でない部分がある。	業務の標準化やルール整備が十分でないことによる。	業務フローの整理やマニュアル整備を進め、役割の明確化と効率化を図る。